

整理番号	HT28020	分野	生物、農学	(キーワード:川、魚、水生昆虫)
------	---------	----	-------	------------------

宮城教育大学

サケマス類の謎に迫る 体のつくりと行動を観察しよう

先生(代表者)	棟方 有宗(むなかた ありむね)教育学部・准教授				
自己紹介	東京大学大学院博士課程修了。専門は、サクラマスの回遊行動のメカニズムの研究。ここ数年は、オレゴン州立大学においてギンザケやキングサーモンの実験も行っている。				
開催日時・主な募集対象	① 平成 28 年 10 月 15 日(土)	(対象)	①②とも小学	(人数)	①②とも 10
	② 平成 28 年 10 月 16 日(日)		5・6 年生		名
集合場所・時間	JR仙山線作並駅	(集合時間)	9 時 40 分		
開催会場	宮城県仙台市広瀬川 住所:〒989 宮城県仙台市青葉区作並 アクセスマップ: <a href="http://www.sakunami-spa.com/sansaku/index.html">http://www.sakunami-spa.com/sansaku/index.html</a>				
内 容					
<p>本プログラムは、10月15、16日の日程で異なる授業を行います。両日参加して頂いても良いですし、またどちらかお好みの1日の参加でも十分に理解できる授業内容となっています。</p> <p>15日の授業では、広瀬川生息するサケ類(イワナ・ヤマメ・ニジマス)の川での暮らし方について講義を行います。また実際に広瀬川に赴き、サケ類の重要な餌生物である水生昆虫類を採集して、種類の調べ方を勉強します。また16日の授業では、再び広瀬川に赴き、サケ類が生息する河川の環境(水温、透視度、底質)について、科学的な手法による観察を行います。また午後からは、サケ類が川の中でどのように生きているのか、特に彼らの摂餌行動に着目し、実際の摂餌行動を釣りにより観察します。以上の総合的な学習を通して、なぜ日本の山の中の河川でサケ類が暮らすことが出来るのかについて、考えます。</p>					
スケジュール			持 ち 物		
10月15日	10月16日	筆記用具、長靴、防寒着、雨カッパ、着替え			
9:40 JR作並駅集合	9:40 JR作並駅集合				
10:00 開講式(科研費の説明)	10:00 開講式(科研費の説明)	特 記 事 項			
10:30 サケマス類の概要の説明 サケマス類の外部形態観察 と比較解剖	10:30 広瀬川上流域の河川環境 (水温、透視度、底質)の観測	小学5、6年生のお弁当は、こちらで用意します。 実施場所は標高が高い所ですので防寒着を忘れずに持ってきて下さい。			
12:00 昼食	12:00 昼食				
13:00 広瀬川における水生昆虫類の採集と観察	13:00 サケ科魚類(ニジマス、イワナ)の摂餌行動の釣りによる観察				
14:30 クッキータイム・質疑応答	14:30 クッキータイム・質疑応答				
15:00 未来博士号授与式、アンケート記入	15:00 未来博士号授与式、アンケート記入				

15:30 JR 作並駅にて解散	15:30 JR 作並駅にて解散	
------------------	------------------	--

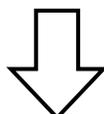
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	宮城教育大学・棟方有宗
住所：	〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 149
TEL 番号：	022-214-3414
FAX 番号：	022-214-3414
E-mail：	munakata@staff.miyakyo-u.ac.jp
申込締切日：	平成 28 年 10 月 4 日（火）

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
棟方有宗	H27-H29	基盤 (C)	24580257	タイヘイヨウサケ属サクラマスの降海回遊期の若齢化とその要因の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。